

2005年 多方面への会員の積極的参画による
AIBA 法人協会の新たなる飛翔を求めて
理事長 澤田 敬之

ジェットロ認定の「輸入ビジネスアドバイザー」制度が発足し、1995年第1期生の誕生を期にAIBAを結成して以来早や10年を経過し、本年は第11期生を迎えることになりました。その間、時代・環境の変化に対応してアドバイザーの名称も「貿易アドバイザー」と変更され、輸入のみならず輸出、更には対日投資拡大の一助を担うべく、外部からのAIBAへの期待と要請が更に広がって来ております。愛称としてのAIBAの知名度も逐年上がって来ました。一方、会の正式名称は「輸入ビジネスアドバイザー連絡会」から「協議会」を経て、2003年には中間法人法に基づく「有限責任中間法人貿易アドバイザー協会」として登記し法人格を取得しました。これにより、今後一層の事業活動の発展へ向けて形の上での基礎は出来たことになりました。

< 現況 >

基金総額: 900万円 (2004年7月23日登記完了)

会員総数: 355名 (参加率 72.6%)

1. 「AIBA」の商標登録とロゴマークの設定

AIBAの知名度向上は即会員の活動分野の拡大に繋がることであり、それだけに他人(社)によるAIBAの名称の悪用を防止するため名称の商標登録をする事にしました。併せて名門米国Rhode Island School of Design 出身の新進のデザイナー菅野仁氏に依頼してロゴマークを決定し、登録する予定です。登録完了後AIBA会員のID用に活用策を考えたいと思いますので皆さんの名アイデアをお待ちしております。

2. 平成16年度の主な受託事業結果

(1) ジェトロ貿易オンライン講座受講者への回答業務引き受け

一昨年よりオンライン講座応用編の新規原稿作成をジェトロから受託したことに関連して、受講生から

の質問への回答業務受託

(2) ジェトロ和文Q&A受託

見直し 815件 新規40件 計855件

(3) JAPTA (オランダ大使館対日投資案件)

3. AIBA会員自己研鑽の推進

AIBA結成のそもそもの目的の一つが会員の自己研鑽を図ることであり、各支部では隔月にまた首都圏では略毎月研修会を開き会員を講師にして、時には外部講師を招いて自己研鑽に努めておられる事はご承知のとおりです。特に首都圏ではジェトロ主催の講演会の他に、地の利も得てWTC (世界貿易センター) の特別の計らいで、AIBA会員をWTCメンバー扱いで殆どの場合無料で各種講演会・勉強会の参加機会を与えてもらっておりますので是非ご利用ください。(FAXにて都度首都圏会員に案内。講演会では通常であれば数万円の受講料を取られるような著名な講師の出講も多い)

・WTC月例講演会

・ワイス新技術講演会

・アジアクラブ主催講演会・シンポジウム

・月例WTCアジア研究会

昨年末には従来不定期の集まりであった埼玉グループが新たに「さいたま勉強会」として再発足し、今後定期的に勉強会を開かれることになったことは非常に喜ばしいことです。広い首都圏・関東地域では他支部とは異なった多様なAIBA活動の展開が望まれます。

4. AIBA会員活動範囲の拡大へ

AIBAの法人格取得により事業範囲の可能性が拡大しましたが、依然としてジェトロ中心の事業が多いのが現状です。今後外部への会員活動斡旋のためにも、会員の得意分野・地域等のより詳細なデータが必要であり、「事業推進G」を中心に準備中です。一方ジェトロとしても独立行政法人となって以来AIBAだけを特別扱いにすることは困難であり、案件受注は他の大手研究機関等との競争入札の結果となります。これらの競争に打ち勝ち、ジェトロの要望に応えるためには、“経験に裏打ちされた貿易に関するプロ”としてAIBA会員の眞の実力がものを言うこととなります。

Contents (目次)

P1... 2005年 多方面への会員の積極的参画による
AIBA 法人協会の新たなる飛翔を求めて

理事長 澤田 敬之

P2... AIBAの活動を通じて感じたこと 草野 英信
AIBA会員1年生 高梨 和彦

P3... 会社での貿易相談 永野 靖夫

P3... 台湾慕情 根橋 玲子
思い掛けないBoeing B-17Gとの出会い 清水 正明

P4... 支部活動、

P5... 首都圏地区WTC関連講演会・研究会 (8月~12月)

P6... アドバイザーの活動

P7... 会員異動、アドバイザーの現況 (H17年1月15日現在)、
理事会議事録抄録

P8... 役員往来、編集後記

5. AIBA事業・活動への参加拡大を

これまで機会あるごとに皆さんにお願いをして来ましたが、AIBAが受注した各種案件も、現状では参加される会員はまだ特定の会員に限られております。16年度JDP案件でも、今回特に大口案件処理会員にお願いして見直し案件の一部を放出してもらい、新規執筆会員の参入を企図しましたが、期待通りには進みませんでした。所謂受動的会員に止まることなく、皆さんの積極的な活動への参加がAIBAの真の発展に繋がる事をご認識願います。

本年は昨年法人化して協議会を一本化して2年目となり、飛翔を目指すAIBA法人協会の基礎固めの年です。2005年は酉年です。羽ばたき舞い上がるおめでたい年になるよう、会員の皆さんの更なるご活躍をお祈りいたします。

AIBAの活動を通じて感じたこと

草野 英信 (埼玉 #231)

テーマの「AIBAを通じての仕事」と言う訳ではありませんが、この所、大学から声が掛かって、貿易や国際ロジスティクスに関する講演を行う機会が増えました。また、ジェットロのQ&Aの執筆も手がけさせていただいている訳ですが、これらの事を通じて感じました事を纏めてみました。

皆様もお感じになっていることと思いますが、人に話すこと、書き物として纏めることは逆に大変自分の勉強にもなるということです。実務などを通じて、自信を持って熟知していたと信じていた分野であっても、いざ人前で話す、公のものを書くとなると、おのずと一字一句に責任が重くなる訳で、漠然と理解していた事も改めて原点に遡って確認してみるといろいろ知らなかった事が出てきたり、一面しか見ていなかったことを認識したり、また法令の精神・真の意味などが理解でき、自分自身、大变得るところが非常に大きく勉強になります。

また、職場では、毎日、ビジネス雑誌・業界紙・業界メールなど膨大な量の資料や情報が入ってくる訳ですが、AIBAの活動をする前は漠然と見ていた、またはハンだけ押し廻してしまい見てもいなかったこれらの資料が、実は宝の山と言っては大きすぎますが、よく読むと非

常に役に立つ情報が含まれている事を実感し、改めて価値を認識した次第です。纏めれば幾つも論文が書けそうな感じもします。問題意識を持って見ると、それまで見えなかったものがいろいろ見えてくると言うことですね。資料を活用できて仕事面でも大きくプラスになるわけです。

そのようなことで、AIBAのメンバーとなって以来、いろいろ物の見方、感じ方が変わってきたと思います。報酬ではなく自分自身、得るところが大きいことを実感した次第です。

AIBA会員1年生

高梨 和彦 (千葉 #495)

昨年の後半6ヶ月をジェットロ千葉で働けたことは望外の喜びであった。認定貿易アドバイザー資格のお陰です。

千葉人材銀行に登録後、千葉県産業振興センターと契約して、ジェットロ千葉に海外取引アドバイザーとして派遣されました(6ヶ月という期間は県予算の制約によりまず)。

仕事は企業や個人からの貿易投資相談に対応することですが、相談者の分布は北海道から愛知県にまで広範囲に及んだ。ある検索エンジンにアクセスするとジェットロ千葉が上位にランクされているため、とのことであった。

相談業務そのものには、商社を準定年退職後ジェットロ本部で4年間投資アドバイザーをやっていたので、違和感なく入ることができた。認定貿易アドバイザーの資格を取得したのは、ジェットロ本部を去って半年過ぎた昨年2月で、2回目の挑戦であった。この資格の存在はジェットロに入って始めて知った。本部での自分の本来の担当は、対日投資と北米・中南米向け投資であったが、駐在経験があることから、中南米との輸出入も担当した。

貿易の基本的なことは理解していたつもりであったが、いざ相談に対応するとなると自分の知識がいかに古く、かつ不足していることを痛感させられた。

更に、同僚アドバイザーにAIBA会員がおり、格好よく仕事している(当然、貿易実務関連の仕事が集中すること)に刺激され、一念発起した次第です。

ジェットロ千葉は相談業務のために4人の海外取引アドバイザーを置いています(平均:週3日勤務)。職歴として共通していることは、中国駐在経験者が多いことです。

相談案件の国別では、中国が30%以上は占めると思われ納得できる採用方針であった。従って、中国への投資相談は中国経験者に対応をお願いし、自分は中国を含む貿易案件に注力した(中国以外の国への投資相談は少なかった)。

この間、輸入通関時の商標権侵害問題に関連する不服申立て制度、サレンダーB/L、キャッチオール規制等、ホットなテーマについて、具体的なケースを通じ自分も勉強させてもらったことは得がたい経験となった。

出来ることなら、今後もこの資格を生かし、地元社会に少しでも貢献する道を探ってゆきたい。



公社での貿易相談

永野 靖夫（東京 #68）

現在、東京都中小企業振興公社のワンストップ総合相談窓口で、国際化支援の相談員をやっています。平成15年4月にこのデスクが創設され、その際、ジェットロへの公社の相談をAIBAが引取り、AIBANETでの募集に応募、AIBAの尽力もあって条件を満たしていた私が毎週木曜日の午後勤務することになりました。

先日、事務局主催の連絡会があり、その際、聞いた話ですが、相談件数の大半は、資金調達を主とする融資・金融関連とトラブル救済を主眼とした法律相談で、その後は経営・税務・労務相談等となっている由です。私のやっている国際化支援は設置間もないこともあり、まだ残念ながら少数に留まっています。

一方、このようなデスクは設置したからといって、すぐに相談件数が増えてくる訳ではないので、事務局でもいろいろと手を打ってくれています。その一つが、「中小企業のための輸出の基礎知識」と題する小冊子の刊行です。これは公社の「経営支援手引きシリーズ」の1冊として、取り上げてもらったものです。相談に来られた方が希望されれば、差し上げることになっています。

このためかどうかは定かではありませんが、昨年4月以来徐々に相談件数が増えてきました。しかし、又、件数が落ちてくるのではないかと、気が気でなりません。

ジェットロ在籍時の環境との違いの一つは、各分野の先生方の相談振りが拝見できることです。一時期、弁護士の方と同じ部屋で仕事をしていたが、先生方の問題の捉え方はこうなんだと納得でき、大変勉強になりました。

それと世の中には、詐欺ないしは詐欺まがいの話がいかに多いか痛感しました。例えば、私のやっている国際化支援の相談にも、これに類するクレームの話が結構あります。私の感じですが、100件相談があるとすると3-4件はこの類です。世の中にはこの手の話は数え切れないほどあり、その内のほとんどが泣寝入りなのでしょう。

最後に公社では、国際化支援に限らず、中小企業の抱えるどんな相談でも応じられる態勢を取っておりますので、この点何かお役に立てば幸いです。詳しくはヤフーでキーワード検索の上、公社のホームページにアクセスして戴ければと思います。

台湾慕情

根橋 玲子（東京 #383）

台湾はかつて「美麗島」といわれた緑豊かな美しい島です。

その「イル・フォルモサ」というポルトガル語の名前は、ポルトガル人の船員が船上から台湾を見た際に「麗しき島よ（Ilha Formosa）」と叫んだことに由来するといわれています。

現在は、経済発展により都市部を中心としてますますその緑が失われつつあるが、先住民の住む山間部や、宜蘭や墾丁など国定公園に指定されている地域では未だ美しい自然を満喫することができます。

私が台湾駐在の折は、自宅が台北市内だったため日頃は自然環境を感じることはほとんどなかった。どの東アジアの大都市も同じであるが、市内は車やバイクの排ガスで空気が汚れ水の汚染もひどかった。幸い台北郊外の木柵という場所が、自宅からモノレール30分ほどだったため、時折その山間部でお茶を楽しんだ。木柵には観光茶園が点在し、茶館では山々の緑などの景色を楽しんでお茶を味わえます。

簡単な懐石風の食事もできるが、大抵は台湾菓子を摘みながら、家族や気のおけない友人達とゆっくり過ごす。ここでは木柵鉄観音茶というお茶が産出され、茶葉は半球状に固く巻かれ褐色の艶があります。黄味を帯びた琥珀の美しい色で、濃厚な味と清涼感を残す渋みがあり、やや熟れた果実の香りが特徴です。他に嘉義や南投、文山など有名なお茶の産地があります。台湾は中国大陸の東南の西太平洋に位置し、北部は亜熱帯気候、南部は熱帯気候に属しています。5つの山脈が縦走し、山地が陸地面積の半分近くを占めています。

温暖で山がちという気候的地理的条件が、このようなおいしいお茶を生み出しているのであろう。

こういった自然条件に恵まれていた台湾は、3気候帯に跨がり地形も多様で広い範囲の動植物相がみられ、タイワンザル等の珍しい生物もいた。環境破壊の激しい近年ではこれらの動物も少なくなってきたが、政府は保護制度の一環として、国立公園6カ所、自然保護区18カ所、国有保護林23カ所、野生動物保護区11カ所を指定し、台湾地域の陸地の12%近くを留保しているそうです。

台湾の陳水扁総統は、就任演説で「台湾を環境に優しいハイテクの“緑のシリコン・アイランド”に」という構想を打ち出した。次いで張俊雄行政院長が「緑のシリコンアイランド」構想について『アジア・ウォールストリート・ジャーナル』（00年12月27日号）に発表した。その中で、張行政院長は「台湾は環境保護と生活レベル向上を重視した産業の発展を追求する“緑のシリコン・アイランド”への道を進むだろう。」と言及しています。私はかつての生活者として、これが単なるスローガンではなく、現実のものとなるように切に願っております。

思い掛けないBoeing B-17Gとの出会い

清水 正明（埼玉 #47）

1950年にGregoly Peck 主演の航空戦争映画「12 O'clock High」が、公開され人気を呼んだ。TVでも同名の番組が放映されたので、憶えておられる会員も多いと思う。

この映画は、第二次世界大戦中に欧州で活躍したBoeing B-17 Flying Fortress（空飛ぶ要塞）と名付けられた米陸軍の大型爆撃機の搭乗員と新任指揮官の物語です。「12 O'clock High」とは、時計の12時の針の方向、即

ち「真上」を意味している。映画には、「頭上の敵機」という意味深い題名が付けられた。

1930前半から開発されたB-17には多くのシリーズがあり、最後のType Gは次の仕様を持ち、当時としては傑出した4発の長距離爆撃機であった。全幅：31.63m、全長：22.78m、全高：5.82m、エンジン：R-1820-97(1,200HP)×4、最大速度：510Km、全装備重量：29.5トン、乗員数：10名、実用上昇限度：11,200m、爆弾搭載量：5.44トンです。

この映画に登場するB-17は、12.7mm機銃を12から13挺も装備し、機体全体を「ハリネズミ」のように武装していたが、操縦席の上部は無防禦に近い弱い箇所であった。ドイツ空軍のFw109戦闘機は、逆落としにこの箇所を執拗に攻撃して、B-17を撃墜した。米軍搭乗員にとって「頭上の敵機」は、最も手怖い相手の一つであった。

1943年半ばまでB-17の編隊は、味方の護衛戦闘機なしでドイツ領内へ深く侵入し、何百回という爆撃攻撃を行った。薄明かりの早朝にイギリス国内の基地から出撃し、運がよければ午後遅く帰着できるという、搭乗員たちにとって長い危険な一日を送ったのです。当時、英国から欧州に向けて25回の出撃を終わったB-17搭乗員達は、兵役から開放され故郷へ帰れた。幸運にも24回の出撃を無事終わっていたB-17・Memphis Belle号のクルーへ与えられた25回目の出撃命令は、最も危険なプレーメンの航空機工場爆撃であった。敵戦闘機との機銃の応酬、高射砲の弾幕、機体は満身創痕の上、エンジン2発を損傷しながらもやっと帰還する様子が、マイケル・ケイント＝ジョーンズ監督の映画「Memphis Belle = メンフィス・ベル」で、リアルに描かれています。

このようにB-17は、前回の世界大戦で最も活躍し爆撃機といわれており、生産数は約12,800機、延べ出撃機数192,000機、爆弾投下量640,000トンの数字がそれを物語っています。Boeing B-29が大戦末期、それも対日戦のみに使われたのに対し、B-17は欧州、太平洋の全戦域で戦い抜き、連合軍の勝利を導いたとして、その役割は大きい。この事実こそ、安定感のあるマスクとともに、今でもB-17が英・米国人に根強い人気を持っている理由であろう。

さて昨年7月、「シュガー・クラフト世界大会」に出席するワイフの作品の運搬係りとして、英国へ出向いた。会場は、ロンドン北西地方特有の「古い藁葺き住宅」や「生垣」が残っている田舎にあったが、コンテストが終わるまで数日間、コテージで静かな日々を送ることができた。

作品を英国へ運搬するほか私のもう一つの目的は、大学で著名なCambridgeの近くのImperial War Museum Duxford を訪問することであった。滞在中のある日、列車を乗り継いで訪れたImperial War Museumは、Duxfordと言う歴史のある空軍基地を利用して作られた大規模な航空博物館です。ここでは、英米の著名な数多くの軍用・民間航空機が展示され、また実際に飛行をさせて、来場者に航空機の歴史と技術を楽しませてくれます。古

典機から最近まで使われていた各種の機体が、整然と並んでいます。例えば、前大戦中の最大傑作と謳われた英国のSpitfire戦闘機から、既にサービスを終わったConcordなどが、新築のハンガーの中に駐機しております。これらの航空機の大部分は、何時でも飛行できるコンディション(flyable)です。

私は、7月下旬にしては肌寒い基地の空気など全く気にならず、爆音を轟かせて離陸し、ほぼ垂直に上昇するSupermarineエンジン搭載のSpitfireの姿に強く魅せられた。一方、滑走路の端では、濃いオリーブ色に輝くB-17G・Sally-B号の給油や整備作業が行われていた。やがてSally-B号は、重厚な4発のピストン・エンジン音を響かせながら滑走路を疾走し、ゆっくりと機首を上げて空中へ浮き上がった。絵になる見事な離陸でした。

B-17の離着陸は、前述の映画やTV番組の画面で何度も見ているが、実際に離陸する機体を目前で見られるとは、Duxfordを訪問するまで思いもよらないことであった。このチャンスは、極めて価値あるものであった。このSally-B号は、B-17 Preservation Ltd.に所有され、Duxford基地とともに映画「Memphis Belle」に出演し、見事にスターの役割を果たしています。因みに、「Memphis Belle」の中でのB-17の基地名は、「Bushingborne」となっています。

Boeing B-17Gの実機との再会は、日本国内ではどのようにしても不可能である。でも最近、その望みを多少なりとも満たす方法として、B-17FまたはB-17Gのプラモデルを組み立てることに気が付いた。親しくしている模型ショップに問い合わせると、全幅が約50cmのB-17FのRevelle社のキットがあるとのことであった。世界的に定評のあるプラモデルのメーカーの製品である。早速取り寄せるようにと依頼をした。Boeing B-17シリーズの写真集やDVDに加えて、このB-17Fのプラモデルが私のコレクションに加われば、「B-17ファン」として、一層重みが増すというものであります。

支部活動(2004年10月以降)

北日本支部

AIBA-KITA主催「第一回 仙台国際ビジネス実践塾」

会場：仙台港国際ビジネスサポートセンター

(第1講座)平成16年6月12日

(講師)今野 彰三(宮城 #465)

(テーマ)貿易概論(輸出を中心に)及び国際ビジネス(輸出営業)の基本とプロセス

(第2講座)平成16年6月19日

(講師)今野 彰三(宮城 #465)

(テーマ)国際営業(輸出営業)の実践と課題

(第3講座)平成16年6月26日

(講師)畠山 茂雄(宮城 #372)

(テーマ)輸入実務、輸入マーケティング、輸入採算表の作り方及びコピー商品と知的財産権について

(第4講座)平成16年6月26日

(講師)大須賀 祐(福島 #486)

(テーマ)輸入実践講座

輸入ビジネスを成功させるには

(第5講座)平成16年7月17日

(講師)今野 彰三(宮城 #465)

(テーマ)国際マーケティング(4P)とSWOT分析

(事例分析)及び輸出貿易管理令、キャッチ
オール規制について

(第6講座)平成16年7月17日

(講師)畠山 茂雄(宮城 #372)

(テーマ)貿易保険の種類と解説、輸出通関実務について

(第7講座)平成16年7月24日

(講師)畠山 茂雄(宮城 #372)

(テーマ)輸入通関実務を中心に

(第8講座)平成16年7月31日

(講師)畠山 茂雄(宮城 #372)

(テーマ)関税・消費税の納税方法について、関税等の
電子納付、マルチペイメントネットワーク

(MPN)とCuPES(カペス)について

(講師)高橋 裕幸(宮城 #371)

(テーマ)外国為替について 決済と為替相場

輸入代金送金の実務と信用状の実務

(第9講座)平成16年8月7日

(講師)畠山 茂雄(宮城 #372)

(テーマ)クレーム実践処理方法とリスク対策

(講師)戸村 和民(山形 #200)

(テーマ)国際取引条件と英文売買契約書の見方

東海支部

平成16年10月23日 例会

講演 「関税の減免制度及び関税評価について」

講師 名古屋税関相談管室 世古胤明室長

平成16年12月11日 例会、忘年会

(1)講演 「個人情報の保護について」

講師 河合主東海支部会員(229)

(2)講演 「金利・株価・為替動向について」

講師 和田勲東海支部会員(311)

終了後、忘年会

首都圏地区・勉強会

1)平成16年7月17日(土)参加者:22名

(講師)福田 浩人(東京 #254)

(テーマ)「神話の国に生まれて」及び「気になる言葉」

2)平成16年9月11日(土)参加者:24名

(講師)覚張 洋吉(埼玉 #273)

(テーマ)「JICAボランティアin Argentina」

3)平成16年10月23日(土)参加者:30名

(講師)岡村 亮(千葉 #128)

(テーマ)「BEYOND THE CORE(経営戦略)」

4)平成16年11月20日(土)参加者:44名

(講師)白土 茂雄(千葉 #474)

(テーマ)「中国の管理貿易制度とよくあるトラブル」

首都圏地区WTC関連講演会・研究会(8月~12月)

1. WTC講演会

・130回(9月22日)

「当面の内外景気動向とデフレからの脱却策」

日本経済研究センター主任研究員 石田和彦

・131回(11月8日)

「デフレ脱却と新しい経済政策思想の展望」

朝日新聞客員論説委員 小林慶一郎

2. アジアカラブ月例講演会

・294回(8月31日)

「インドネシア政治の現状と展望」

京大東南アジア研究センター教授 白石隆

・296回(10月7日)

「中国の東シナ海海洋戦略と日本の国益」

杏林大学教授 平松茂雄

・297回(11月18日)

「少子高齢化とこれからの日本」

慶応義塾大学教授 清家篤

・アジアカラブ冬季連続セミナー

12月13日「米国の世界戦略とアジアの視点から朝鮮
半島を中心に」

防衛庁防衛研究所総合研究官 近藤重克

「独立志向を強める台湾の現状と将来」

共同通信社ニュースセンター 高田智之

12月14日「東アジアの政治情勢」

竹中平蔵参院議員政策秘書 真柄昭宏

3. アジアカラブ講座(12月3日)

「アフガニスタン大統領選挙の総括:未だ続く茨の
道」

講師 アフガンネットワーク 柴田和重

コメンテーター 中東経済研究所首席研究員田中浩
一郎

座長 放送大学助教授 高橋和夫

4. シンポジウム「アジア・ラウンドテーブル」

「人財とグローバル経営」(11月5日)

コーディネーター 早稲田大学教授 木下俊彦

5. アジア国別研究会

・13回「インド基礎知識」(10月20日)

伊藤忠石油開発(株)取・副社長 平光英明

・14回「中国の法務事情」(11月17日)

伊藤忠商事法務部総括チーム長代行 斎藤晃



6. カンボジア・ビジネスフォーラム(12月22日)
 講師 H.E.Cham Prasch(カンボジア王国商業大臣)
 コーディネーター 今川幸雄(元駐カンボジア大使)
7. ワイス新技術セミナー(12月9日)
 「大飛躍する21世紀の技術文明」
 東大名誉教授 石井威望

アドバイザーの活動

講演・講師

1. 清水 正明(埼玉 #47)
 平成16年10月7日、8日
 ジェトロ金沢主催 貿易実務講座
 「貿易の仕組みと流れ」
 「輸出口ロールプレー(アドバイザー)」
2. 渡辺 肇幸(千葉 #115)
 茨城県中小企業振興公社
 平成16年10月12日 「輸出の実務」前半
 10月19日 「輸出の実務」後半
 11月16日 「貿易実務まとめ」
 茨城県産業会館
3. 黒田 清弘(愛媛 #233)
 平成16年10月26日
 (社)愛媛県産業貿易振興協会主催
 国際ビジネス支援講座「輸入：クレームの申立て」
 場所：松山商工会議所
 平成16年11月25日
 (社)愛媛県産業貿易振興協会主催
 国際ビジネス支援講座「商業英語：輸出英文作成」
 場所：松山商工会議所

相談・アドバイス

1. 清水 正明(埼玉 #47)
 平成16年10月29日
 「ベストパートナー in 長野」実行委員会主催・ジ
 エトロ長野参加
 貿易個別相談会
2. 中川 善博(三重 #67)
 平成16年10月15日、11月19日、12月17日
 ジェトロ三重主催



- 巡回貿易相談
 場所：四日市商工会議所
 平成16年10月21日、11月18日、12月16日
 ジェトロ三重主催
 巡回貿易相談
 場所：伊勢商工会議所 松阪市産業振興センター
 平成16年11月5日、12月3日、17年1月7日
 ジェトロ三重主催
 巡回貿易相談
 場所：四日市市 じばさん三重
 平成16年10月27日、12月22日
 ジェトロ名古屋主催
 貿易・投資相談
 ジェトロ名古屋

3. 野本 功司(東京 #76)
 平成16年10月28日～11月2日
 ミプロ(対日貿易投資交流促進協会)
 ミプロ小口輸入視察・買い付けミッション
 (20名参加) 随同行コーディネーター
 タイ国バンコック、チェンマイ

4. 鈴木 貞雄(静岡 #309)
 平成16年10月20日、12月01日
 JETRO静岡
 「貿易相談会」
 JETRO静岡
 平成16年11月05日、06日
 JETRO静岡
 「貿易相談」
 静岡ツインメッセ 世界お茶まつり会場

5. 田中 尊雄(愛知 #406)
 平成16年11月24日
 ジェトロ名古屋主催
 貿易相談
 ジェトロ名古屋

6. 池崎 元彦(神奈川 #431)
 平成16年8月25日
 中小企業国際化支援アドバイス制度
 貿易相談(中国のサプライヤー探し)
 中小企業基盤整備機構
 平成16年9月6日
 ジェトロ貿易・投資相談
 投資相談(中国よりの合併申込)
 ジェトロ横浜
 平成16年10月21日
 中小企業国際化支援アドバイス制度
 貿易相談(コスト削減のための中国品の輸入)
 中小企業基盤整備機構
 平成16年10月22日

海外職業訓練協会コンサルティング事業
貿易・投資出張相談

東京ビックサイト「産業交流展2004」

平成16年11月9日

中小企業国際化支援アドバイス制度
貿易相談（中国の国内流通開放政策）

中小企業基盤整備機構

平成16年12月13日

中小企業国際化支援アドバイス制度
貿易相談（中国との輸入契約書作成）

中小企業基盤整備機構

埼玉県海外取引アドバイザー制度による貿易相談

1. 清水 正明（埼玉 #47）

平成16年

10月 12日（さいたま市）

10月 28日（さいたま市）

11月 1日（さいたま市）

11月 22日（蕨市）

12月 2日（さいたま市）

会員異動（2004年10月以後、敬称略）

個人情報保護の為、
削除しました。

アドバイザーの現況（H17年1月15日現在）

アドバイザー総数：489名

AIBA会員総数：355名（参加率：72.6%）

第1期 67名（# 1～#118） 第6期 19名（#342～#368）

第2期 34名（#119～#179） 第7期 53名（#369～#433）

第3期 23名（#180～#215） 第8期 18名（#434～#453）

第4期 38名（#216～#264） 第9期 27名（#454～#484）

第5期 58名（#265～#341） 第10期 18名（#485～#504）

うちAIBANET加入者310名（参加率：87%）

支部・地域別会員数

関東&周辺 206名（58.0%）

北日本支部 15名（4.2%）

東海支部 27名（7.6%）

関西支部 61名（17.2%）

中国四国支部 18名（5.1%）

九州支部 22名（6.2%）

海外駐在者* 6名（1.7%）

合計 355名（100%）

* 海外駐在会員（6名）（敬称略）

#234 小林公典（豪州メルボルン）AIBANET加入

#253 日口正敏（米国CAサクラメント市）加入

#290 北見義久（UAE）加入

#356 白川泰正（インド）加入

#385 中根昌孝（中国深圳市）加入

#459 荻田浩三（米国NC ラレイ市）加入

理事会議事録抄録

第53回定例理事会

（開催日時）2004年12月5日（日）8：00～10：00AM

（開催場所）東京商工会議所 荂科フォーラム 研修室B

（出席者）澤田、岩田、網谷、古賀、足立、白石、大谷、
釜堀、橋本、鈴木、中川、花崎、近藤、西嶋
（以上理事14名）野本、井上（以上監事2名）

（欠席者）理事1名（宮川）

（議事概要）

<承認事項>

（1）2004年度ジェットロ和文Q&A見直し業務等受注の件。

見直し815件、新規40件、合計855件の受注、JDP専門委員に昨年と同じ渡辺・広沢・井上3会員の選任を網谷専務より報告し、先に役員ネットです承通り、承認された。

(2) 貿易実務オンライン講座受講者質問回答業務受託の件。

同講座原稿作成受注時の専門委員渡辺・周防・藤田・高橋4会員による04年10月から半年間の質問回答業務をジェットロより受注したことを網谷専務より報告し、先に役員ネットです承通り、承認された。

(3) 法人協会第3期上半期予算決算対比経過報告。

網谷専務より対比表を提示して順調に推移している旨報告あり、全員異議なく承認。

(4) 平成16年度支部運営費振込みの件。

6月19日会員総会にて承認された平成16年度予算に基づき6月末に各支部へ予算金額が振り込まれたが、当期からこの振込額を以って「支部運営助成費」とし期末残金回収は行わないこと、および協議会資金配分による支部運転資金の取扱い要領を設定し各支部による自主資金管理を行うことにつき、専務理事より説明異議なく承認された。

(5) AIBA商標登録申請の件。

a) “AIBA” が当協会事業の事実上の商標化しつつあるに鑑み、他人による商標侵害を予防するためAIBAの商標登録申請を行うこと、先ずは必要最少限の類数で申請することが承認された。

b) 商標登録申請に使用するAIBAロゴが新進デザイナー菅野仁氏の手により3タイプ完成し、うちケース2を以って登録商標として申請することに決定された。

< 報告事項 >

(1) 法人協会基金増額及び定款変更登記完了報告および会員状況報告。

定款変更 平成16年7月23日 登記完了

基金増額 600万円 900万円 平成16年7月23日登記。

役員変更 理事 1名辞任(山之口氏)、1名就任(網谷氏)

7月23日 登記完了。

(2) AIBAホームページ全面改訂進行状況報告

a) 事務局長により改訂手続き中だが、他の役員協力も必要。

(古賀理事がサポートする旨申し出あり、了承される)

b) このWEB-SITEの設定者シーネット情報サービス(椎原義昭代表)を引続き使用する。

c) 当項目の予算が不足すれば他項目の剰余額の転用を認める。

(3) 各グループ別・支部別本年度実施計画進行状況説明。

各グループ代表および支部長から例会・勉強会等の実施状況報告。

役員往来(16年6月~16年12月)

6月 5日 九州支部例会(ジェットロ福岡)

澤田代表理事出席

6月15日 中国経済産業局森下国際課長補佐
通商貿易相談会に関する打ち合わせ
近藤中国四国支部長

6月19日 AIBA協議会第9回総会
AIBA法人協会第2回総会
(出席理事15名 監事2名)

9月10日 中国経産局/貿易アドバイザー情報交換会
近藤中国四国支部長出席

9月21日 ジェットロ貿易実務オンライン講座受講者質問
への回答書作成業務検討会
ジェットロ: 北条人材開発支援課長、他2名
AIBA: 網谷専務理事、釜堀理事

10月 8日 16年度和文Q&Aに関しジェットロ意見交換
ジェットロ: 貿易投資相談課伊藤主幹他2名
AIBA: 網谷専務理事、釜堀理事

11月 4日 16年度第1回JDP案件実務連絡会
ジェットロ: 桜井担当他2名
AIBA: 網谷専務理事・釜堀理事、JDP委員3名

11月12日 JDP専門委員会(応募要綱打ち合わせ)
網谷専務理事・釜堀理事/JDP委員

11月20日 首都圏役員打ち合わせ会
(出席理事8名 監事2名)

12月 5日 AIBA第53回理事会
(出席理事14名、監事2名)

12月11日 東海支部例会 岩田副理事長、中川支部長理事
出席

12月11日 関西支部例会 澤田理事長、花崎支部長理事
出席

12月14日 ジェットロ広島・松江・鳥取合同懇談会
近藤中国四国支部長出席

12月21日 首都圏忘年会(キャッスル)
(出席理事9名 監事2名 西嶋九州支部長特別参加)

< 編集後記 >

予てから待望の、AIBAロゴマークが新しく決定した。シンプルで且つ力強さを内に占めたデザインは、私達会員がこれから活躍する分野の幅広さを表している。ただいま、登録作業中なので公表を差し控えているが、このロゴの下、会員は切磋琢磨してロゴマークが意図するところを具現したいと思う。

テーマを決めて原稿依頼の方が投稿し易いと考えたが、会員各位の筆不精はかなり重症の様と思わざるを得ない。和文Q&Aの高尚な記述を拝読するに、書けないのではなく、書く意思が乏しいのではと勘繰りたくもなる。文章は書かないと徐々に下手になりかねない。会員各位の猛省と積極的に投稿される姿勢を持たれることを望みたい。(S.O)